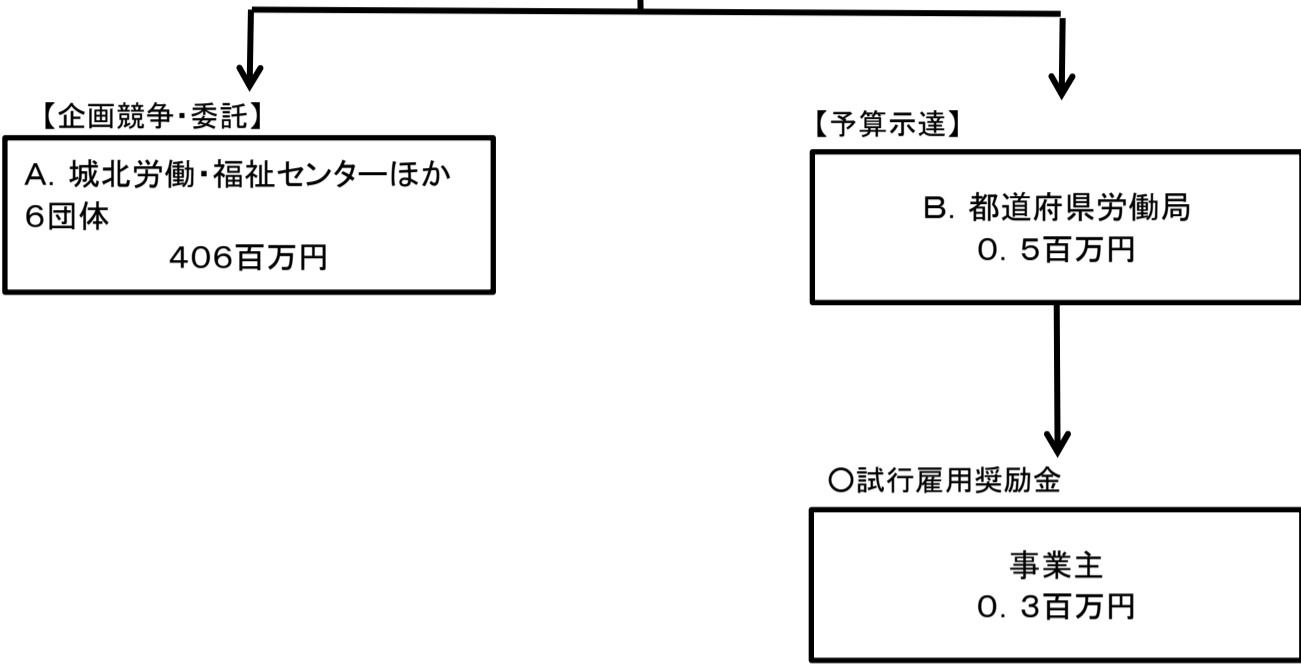


行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	日雇労働者等技能講習事業	事業開始年度	平成13年度	作成責任者		
担当部局	職業安定局	担当課室	雇用開発課就労支援室	就労支援室長		
会計区分	労働保険特別会計(雇用勘定)	上位政策	高齢者・障害者・若年者等の雇用の安定・促進を図ること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	雇用保険法第63条第1項第7号	関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日雇労働者、ホームレス又は住居喪失不安定就労者に対して、技能労働者として必要な知識・技能を習得又は向上させ、これらの者の就業機会等の確保を図ることを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	日雇労働者等技能講習は、対象者の就業の可能性を高めるとともに常用雇用等のより安定した雇用への移行の促進を図ることに資する技能を身につけさせるために必要な講習を実施するものであるが、講習にかかる講習の企画、対象者の募集・人選等の講習業務一切を企画競争により選定した団体へ国から委託するものである。また、住居不安定就労者を試行的に雇用する事業主に対しては、試行雇用対象者1人当たり4万円(対象期間3か月以内)の奨励金を労働局から事業主へ支給する。					
実施状況	【平成21年度】 ① 技能講習利用者実績:3,457人 ② 試行雇用開始者実績:3人					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	654	530	489	528	534
	執行額	461	434	407		
	執行率	70.5%	81.9%	83.2%		
	総事業費(執行ベース)	461	434	407		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	技能講習については、委託団体から四半期ごとの事業実施状況報告書、会計年度終了時の事業実施結果・精算報告書を受審審査、適正な支出が実施されているかを確認している。				
	見直しの余地	引き続き必要な予算を確保する必要がある。 事業を実施するにあたり、受講者よりアンケート(満足度等)を徴収し、講習内容のニーズ等を把握し、必要な見直しを図る。また、試行雇用計画においても、当制度を活用できる者に積極的に制度周知を行い、利用者実績を向上させる。				
予算チームの監視・所見率化	一部改善(執行状況を予算要求に反映) *補記参照 毎年度恒常的に不要が生じており、予算と執行の乖離の要因等を精査し、予算を縮減すべき。					
補記	平成23年度要求において過去の実績平均等を踏まえ、支援対象見込者数を見直したことにより減額しているが、謝金単価の見直しにより増額となっている。					

厚生労働省
407百万円



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

A.東京しごと応援団			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	人件費	34			
事業費	技能講習に必要な経費	96			
管理費	事業に必要な管理経費等	4			
消費税	消費税	7			
計		141	計		0
B.都道府県労働局			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	指導等旅費	0.2			
給付金	試行雇用奨励金	0.3			
計		0.5	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

○ No.947「日雇労働者等技能講習事業」(21年度委託費の確定額一覧)

(単位:百万円)

区分	確定額
合同会社 東京しごと応援団	141
財団法人 城北労働・福祉センター	16
財団法人 神奈川県労働福祉協会	57
特定非営利法人 いきいきライフサポート・あいち	23
財団法人 西成労働福祉センター	79
社会福祉法人 みおつくし福祉会	61
特定非営利法人 北九州ホームレス支援機構	29
合計	406